

創発する有機化学

企画担当：有機合成化学協会東海支部

森 裕二 (名城大・薬)

山本 尚 (中部大・分子性触媒)

堤内 要 (中部大・応用生物)

「創発」とは、自立的な要素が多数集まることによってその単なる総和にとどまらない予測を超えた新たな創造が誘発されることを意味する。本討論会では、有機化学の様々な分野で活躍されている研究者による講演と討論を通して、若手研究者や学生が創発的研究を展開する契機を提供したい。

招待講演

- (1) 稲垣 都士 (中部大学総合工学研究所・客員教授)
「有機軌道論」
- (2) 徳山 英利 (東北大学大学院薬学研究科・教授)
「酸化反応を鍵とする多環性アルカロイドの合成研究」

依頼講演

- (1) 佐治木 弘尚 (岐阜薬科大学・教授)
「不均一系遷移金属触媒による C-H 活性化を基盤とした重水素標識法」
- (2) 依田 秀実 (静岡大学大学院工学研究科・教授)
「テトラミン酸骨格についての合成化学」
- (3) 山口 潤一郎 (名古屋大学大学院理学研究科・准教授)
「ニッケル触媒によるヘテロビアリール合成法の開発と応用」
- (4) 浦口 大輔 (名古屋大学大学院工学研究科化学・准教授)
「キララルアミノホスホニウム塩の構造制御に基づく高選択的分子変換法の開拓」

* 特別討論会における一般講演を募集